



「こんにちは 市長です」

3月1日号

前に「ふるさと納税」のことを書いた。地方税を取ったり取られたり、税をもてあそんでいるとしか思えない、と。かと言って現実にこの制度はある。負けてはられない、とも。あれからいろいろ考えた。太田が持てるものを商品化してみよう。ビールは千代田町が高収益を上げている。太田もダニエルハウス内で作っている、地ビール「夢ビール」がある。最近、11度の「アリバイ」という銘柄が好評と聞く。缶ビールを作ろう。贈答品にもよし、配送も便利。いける。群馬クレインサンダーズのグッズとしてティッシュペーパーなど紙類は家庭向きで安価。紙は佐野市が成功している。ほかに何か…。ふるさと納税別動隊をつくりたい。秘書室がいいかな、と考えている。

強戸地区は自然が豊かだ。インターができた、生かせないか。議会でも取り上げられた。過日、八王子山公園に出かけた。澄んだ空気の中、ウォーキングしている人が多い。目の前を歩く女性2人に聞いてみた。「あそこでグランピングはどうですか」。砂利の駐車場の方を指さした。グランピングをふるさと納税の商品にしたいという下心である。「東京から友達を呼べるわ」と大賛成であった。会う人にこのことを提案すると反対する人はいない。広い芝生広場はある。朝日は栃木の山々を低く見て輝く。夕日が飛び抜けて美しい。夜は満天の星空。そばにはゴルフ場が用意されている。民の力を借りて開設すればいい、そう思った。

「そういえば、四万川ダムの上に太田市の土地があった」。ダムの水利権を持ったときのおまけで、県から「土地利用しませんか」と言われたことを思い出した。市の保養所をつくっても経費倒れ、と保留した。四万温泉から2 km奥、四万川ダムのブルーは魅力だ。グランピング、使える可能性はありそうだ。新年度はふるさと納税勝ち組のスタートにしたい。(2/17記)